

マルチディシプリナリーアプローチ18日間コース

Course Director



渡辺 隆史
Takashi Watanabe

MULTIDISCIPLINARY
APPROACH

18
DAYS COURSE

Instructor



渡辺 隆史
Takashi Watanabe



上濱 正
Akira Uehama



貞光 謙一郎
Kenichiro Sadamitsu



龍田 恒康
Tsuneyasu Tatsuta



辰巳 順一
Junichi Tatsumi



林 丈一朗
Joichiro Hayashi



平井 順
Jun Hirai



松崎 浩成
Hiroshige Matsuzaki



宮崎 真至
Masashi Miyazaki

パッケージコース(一括受講)

主な認定制度

【パッケージコース番号:14230300】

¥ 800,000

- 日本歯科医師会認定研修会
- 明海大学「歯科総合医」認定研修会
- 明海大学大学院生の単位認定コース



コースの詳細・お申込みは
こちらから▲

INTRODUCTION

一口腔単位の質の高い治療を実現するには、様々な角度から症例を分析し、多彩な治療の選択肢を持つて治療に当たらなくてはなりません。それが、マルチディシプリナリーアプローチです。

本コースは、歯内療法・歯周治療・保存修復・クラウンブリッジ・有床義歯・口腔外科・部分矯正・デジタルデンティストリーなどの各分野をバランスよく学ぶことのできる、実践型の臨床コースです。

各セクションにおいては、講義と実習を交互に行うことで、理解を深め、確実に臨床応用できるように工夫されています。

また、パッケージ受講(全てのセクションを受講)することで、治療計画からメンテナンスまで、一口腔単位で治療を行うための一連の流れを理解することができます。症例発表を通じて、症例をまとめる力が身に付きます。



◀ 紹介動画を見る

プログラム内容

パッケージコース対象特別講座

オリエンテーション

WEB配信

診査診断治療計画:戦略的治療計画
ー全身単位で診たトリートメントプランの組み立てかたー
講師/渡辺 隆史・龍田 恒康

まとめ

WEB配信

予防とメンテナンス
講師/渡辺 隆史・龍田 恒康

マルチディシプリナリーアプローチ1・2

(歯周コース)

歯周治療の診査・診断と治療計画
(歯周治療I)

講師/林 丈一郎・渡辺 隆史

(歯周コース)

歯周基本治療(歯周治療II)

講師/林 丈一郎・渡辺 隆史

マルチディシプリナリーアプローチ3・4

(歯周コース)

歯周外科処置の基本(歯周治療III)

講師/辰巳 順一

(歯周コース)

オープンフラップキュレタージ
(歯周治療IV)

講師/辰巳 順一

マルチディシプリナリーアプローチ5・6

(歯周コース)

切除療法と根分岐部病変の治療
(歯周治療V)

講師/渡辺 隆史・辰巳 順一・林 丈一郎

(歯周コース)

口腔機能回復治療と治療計画の立案
(歯周治療VI)

講師/渡辺 隆史・辰巳 順一・林 丈一郎

マルチディシプリナリーアプローチ7・8

(保存修復コース)

カリオロジーとMI修復

講師/宮崎 真至

マルチディシプリナリーアプローチ9・10

(歯内療法コース)

EBMに基づいた効率的な3次元的根管形成、充填
ー歯内療法を見直すー

講師/平井 順

マルチディシプリナリーアプローチ11・12

(矯正・外科コース)

MTMの実際
ーアップライトとエクストルージョンー

講師/渡辺 隆史・松崎 浩成

マルチディシプリナリーアプローチ13・14

(補綴コース)

精度を追求した補綴治療
ークラウンブリッジの勤所ー

講師/渡辺 隆史

マルチディシプリナリーアプローチ15・16

(補綴コース)

人生100年時代における
有床義歯補綴治療

講師/上濱 正

マルチディシプリナリーアプローチ17・18

(補綴コース)

包括的治療の進め方
ーデジタル化した次世代のフルマウス治療ー

講師/貞光 謙一郎

パッケージコース対象特別講座

マルチディシプリナリーアプローチのすべてのコースをお申込みされた場合、「オリエンテーション」及び「まとめ」をZoomによるWEBセミナーにて参加できます。【参加費無料】

2023年5月16日(火) 19:30～、2023年5月17日(水) 19:30～

【オリエンテーション】

診査診断治療計画:戦略的治療計画

ー全身単位で診たトリートメントプランの組み立てかたー

- 本コースのオリエンテーション
18日間の全体の流れについて解説します。
- 基本的な資料収集法と診査・診断治療計画
- 診査から導き出された診断を治療計画にどのように活かしたら良いか、治療計画の立案方法についても解説します。
- ケースプレゼンテーションの方法
本コースを通じてケースプレゼンテーションができるようにします。

2024年2月25日(日)

【まとめ】

予防とメンテナンス

- 本コースのまとめについて解説します。
- 健康を取り戻した口腔環境を永続的に維持するための予防とメンテナンスについて解説します。
- う蝕や歯周病に対するリスク管理をどのように行い、院内システムとしての構築をしたらよいかを解説します。
- 症例ディスカッションを通して日常の臨床における疑問解消を目指します。
- ケースプレゼンテーション
1 症例発表することによりマルチディシプリナリーアプローチの修了証書を発行します。



渡辺 隆史
Takashi Watanabe

小滝歯科医院院長
明海大学歯学部臨床教授
日本顎咬合学会
元理事長・指導医
日本歯内療法学会専門医
日本口腔診断学会認定医
アメリカ審美歯科学会会員
アメリカ歯周病学会会員
UCLA-Kawazu STUDY CLUB
会長
いづな総合歯顎研究会
(ITDC) 主宰



龍田 恒康
Tsuneyasu Tatsuta

明海大学歯学部
病態診断治療学講座
口腔顎顔面外科学分野
教授

- 定員：15名
- 日時：【オリエンテーション】
2023年5月16日(火)
19:30～21:00
2023年5月17日(水)
19:30～21:00
【まとめ】
2024年2月25日(日)
- 会場：WEB配信(Zoom)
- 受講料：参加無料
※パッケージコース対象者のみ

【コース番号:14230301】

マルチディシプリナリーアプローチ 1・2

一口腔単位の治療は、口腔内が清潔で健康な歯周組織のもとで行われなくてはなりません。特に補綴治療に際しては、歯周病を治すことが優先されます。歯周治療の基礎となる診査診断から、SRPに必要な器材の扱い方、そして歯周外科に到るまで、実習を主体に歯周治療の基礎を徹底して解説します。

(歯周コース) 歯周治療の診査・診断と治療計画(歯周治療Ⅰ)

Examination, Diagnosis, and Treatment Plan for Periodontal Therapy (Periodontal Therapy I)

講義 (Lecture)

1. 歯周病はなぜ治るのか?
2. 患者様に信頼を得るために必要なこと
3. 下顎前歯の見方
4. 歯内歯周病変への対応

実習 (Hands on)

1. 歯周病検査の基本手技
2. 咬合性外傷の見つけ方
3. エックス線写真を深く読み込む
4. 治療計画立案 Practice

(歯周コース) 歯周基本治療(歯周治療Ⅱ)

Cause-related Periodontal Therapy (Periodontal Therapy II)

講義 (Lecture)

1. 電動歯ブラシを使いこなす
2. SRPで何を除去するのか?
3. プラークコントロール以外に必要な処置は何か?
4. 歯周外科手術前に行っておくべき処置
5. 歯周矯正の実際

実習 (Hands on)

1. 抜去歯を用いたグレーシー・キュレットの基本操作
2. マネキンを用いたSRPのポジショニング
3. 豚顎を用いたSRPの実践テクニック
4. シャープニング



■日本歯周病学会専門医・認定医の更新単位認定研修会(7単位)



林 丈一朗

Joichiro Hayashi

明海大学歯学部
口腔生物再生医学講座
歯周病学分野教授
日本歯周病学会
指導医・専門医



渡辺 隆史

Takashi Watanabe

小滝歯科医院院長
明海大学歯学部臨床教授
日本顎咬合学会
元理事長・指導医
日本歯内療法学会専門医
日本口腔診断学会認定医
アメリカ審美歯科学会会員
アメリカ歯周病学会会員
UCLA-Kawazu STUDY CLUB
会長
いづな総合歯顎研究会(ITDC)
主宰

■定員：15名

■日時：2日間

2023年5月20日(土)

10:00 ~ 17:00

2023年5月21日(日)

9:00 ~ 16:00

■会場：千葉・浦安市

明海大学PDI浦安歯科診療所

■受講料：100,000円

(実習材料費、教材費含む)

1・2

MULTIDISCIPLINARY
APPROACH

18

DAYS COURSE

【コース番号:14230302】

マルチディシプリナリーアプローチ 3・4

Point

- 歯周外科器具の種類と使用方法についてのハウツウ
- 歯周外科処置の基本中の基本である、理論・解剖・適応症・分類について習得できるよう実習を通して身に付けていただきます。
- 歯周外科処置に必要な縫合の基本についてしっかりと理解していただけるよう講義・実習を行います。
- 歯周治療Ⅲで学んでいただいた歯周外科処置の基本知識と技術をベースに、外科処置の基本であるオープンフラップキュレタージュ(OFC)についてしっかりと理解いただけるよう講義・実習を行います。

(歯周コース) 歯周外科処置の基本(歯周治療Ⅲ)

Basics of Periodontal Surgery (Periodontal Therapy III)

講義 (Lecture)

1. 歯周外科手術の原則
2. 歯周外科処置の歴史と変遷
3. 歯周外科処置に必要な解剖学
4. その症例は歯周外科処置の準備ができたか?
5. 歯周外科処置に必要な縫合の基本スキル

実習 (Hands on)

1. 外科器具の取扱い
 2. オペガムシートを用いた縫合実習
 3. 豚顎を用いた縫合実習
- *手技、コツを学びます。

(歯周コース) オープンフラップキュレタージュ(歯周治療Ⅳ)

Open Flap Curettage (Periodontal Therapy IV)

講義 (Lecture)

1. 歯周外科処置に用いる器具
2. どのような症例にどのような外科処置を行うのか?
3. 意外と知らない歯周外科の基本(原典から学ぶ)
4. オープンフラップ手術をマスターしよう

実習 (Hands on)

1. 豚顎を用いたオープンフラップ手術
切開、剥離、搔把、縫合

■日本歯周病学会専門医・認定医の更新単位認定研修会(7単位)



辰巳 順一

Junichi Tatsumi

朝日大学歯学部

口腔感染医療学講座歯周病学分野教授

日本歯周病学会専門医・指導医

日本顎咬合学会指導医

■定員：15名

■日時：2日間

2023年6月24日(土)

10:00 ~ 17:00

2023年6月25日(日)

9:00 ~ 16:00

■会場：千葉・浦安市

明海大学PDI浦安歯科診療所

■受講料：100,000円

(実習材料費、教材費含む)

3・4

MULTIDISCIPLINARY
APPROACH

18

DAYS COURSE

【コース番号:14230303】

マルチディシプリナリーアプローチ 5・6

(歯周コース)

切除療法と根分岐部病変の治療(歯周治療V)

Resective Therapy and Treatment of Furcation Involvement (Periodontal Therapy V)

Point

- 中等度以上の歯周炎の治療において避けて通れない、切除療法と根分岐部病変の治療について実習を通して修得
- 歯周ポケットを浅くするための処置
- 患者によって異なる歯根の解剖学的形態などを考慮して対応しなければならぬ悩ましい治療を攻略

講義 (Lecture)

1. 切除療法の考え方と手技
2. 根分岐部病変の診断と治療法

実習 (Hands on)

1. 豚顎を用いた切除型フラップ手術
2. 豚顎を用いた根分岐部のデブライドメント

(歯周コース)

口腔機能回復治療と治療計画の立案(歯周治療VI)

Oral Rehabilitation and Treatment Planning (Periodontal Therapy VI)

Point

- 口腔機能回復治療、クラウン・ブリッジや義歯による補綴治療
- インプラント治療、矯正治療
- タイポドントを用いた下顎前歯のレベリング実習
- 受講生により担当患者の歯周治療計画についてのプレゼンテーションおよびディスカッション

講義 (Lecture)

1. 歯周病患者の口腔機能回復治療
2. 歯周治療におけるMTM

実習 (Hands on)

1. タイポドントを用いた下顎前歯のレベリング

ディスカッション (Discussion)

1. 受講生による歯周治療計画のケースプレゼンテーション

■ 日本歯周病学会専門医・認定医の更新単位認定研修会 (7単位)



渡辺 隆史

Takashi Watanabe

小滝歯科医院院長
明海大学歯学部臨床教授
日本顎咬合学会
元理事長・指導医
日本歯内療法学会専門医
日本口腔診断学会認定医
アメリカ審美歯科学会会員
アメリカ歯周病学会会員
UCLA-Kawazu STUDY CLUB会長
いづな総合歯顎研究会 (ITDC) 主宰



辰巳 順一

Junichi Tatsumi

朝日大学歯学部
口腔感染医療学講座
歯周病学分野教授
日本歯周病学会専門医・指導医
日本顎咬合学会指導医



林 丈一郎

Joichiro Hayashi

明海大学歯学部
口腔生物再生医工学講座
歯周病学分野教授
日本歯周病学会
指導医・専門医

■ 定員: 15名

■ 日時: 2日間

2023年7月22日(土)

10:00 ~ 17:00

2023年7月23日(日)

9:00 ~ 16:00

■ 会場: 千葉・浦安市

明海大学PDI浦安歯科診療所

■ 受講料: 100,000円

(実習材料費、教材費含む)

5・6

MULTIDISCIPLINARY
APPROACH

18

DAYS COURSE

【コース番号:14230304】

マルチディシプリナリーアプローチ 7・8

(保存修復コース)

カリオロジーとMI修復

Cariology and MI Restoration with Bonding

齲蝕のマネージャーとしてのカリオロジーという学問は、これまでの知識の蓄積によって確立されたものとなりつつあります。齲蝕が減少したとはいえ、その予防に対する取り組みは今後とも重要なものとなるはずですが、一方、コンポジットレジン修復においてはレジンペーストの取り扱いである充填テクニックの習得も重要になります。頭で理解することが求められることもありますが充填テクニックの実際は、ハンズオンセミナーを通じて習得する必要があると考えられます。それによってコンポジットレジン修復がさらに楽しくなり、患者さんの喜ぶ診療につながるのです。

本コースを受講することで、総合的なカリオロジーの理解とともに、コンポジットレジン修復の手技の基本とともに応用法を理解できるものと確信しています。少人数であるからこそ、密度の高い学びの場が形成されるとともに、それだけ強い刺激をもたらすセミナーとなるはずですが、

Point

- 今日の歯科診療に欠くことができないものの習得
- 総合的なカリオロジーの理解
- コンポジットレジン修復の手技の基本、応用法の理解
- 明日からの臨床に役立つヒントを得られる
→臨床に反映できる知識とテクニックを身に付ける

学習効果

- 最新の歯科材料の使用方法を学ぶことができます。

講義 (Lecture)

1. これからのレジン充填とは
2. 歯質接着の実践的理論
一 納得の接着技術
3. コンポジットレジンの選択基準
4. 審美レジン修復を成功に導く基礎知識
5. 動画によるケースプレゼンテーションで、
充填のコツを知る



実習 (Hands on)

1. 齲蝕の除去と修復処置
2. Class I および II 修復
3. ダイレクトベニア修復
4. シリコンガイドを用いたClass IV 修復
5. 上顎前歯ワンユニットブリッジ



宮崎 真至

Masashi Miyazaki

日本大学歯学部

保存学教室修復学講座教授

日本審美歯科学会理事

日本接着歯学会理事

日本歯科保存学会理事

日本歯科理工学会代議員

■定員：15名

■日時：2日間

2023年7月1日(土)

10:00 ~ 17:00

2023年7月2日(日)

9:00 ~ 16:00

■会場：東京・新宿区

明海大学・朝日大学サテライトキャンパス

明海大学・朝日大学歯科医師生涯研修センター

■受講料：100,000円

(実習材料費、教材費含む)

7・8

MULTIDISCIPLINARY
APPROACH

18

DAYS COURSE

【コース番号:14230305】

マルチディシプリナリーアプローチ 9・10

(歯内療法コース)

EBMに基づいた効率的な3次元根管形成、充填 — 歯内療法を見直す —

3 Dimensional Root Canal Preparation & Filling based on EBM - Reconsideration of Dental Remedies -

歯内療法の質をあげることは、治療後の良好な長期予後(Longevity)に繋がります。歯内療法ではまずは歯髄を守ること、抜髄を余儀なくされた場合は歯質を守ること、そして感染根管では歯質を保護しながら根管内を無菌化することが求められます。そのために必要なエンドの基本を、実習を通して解説します。

Point

- 患者様からの信頼を獲得し、その後の治療をスムーズに進行させるため、痛みの無い根管治療の実践は重要
- 歯内療法は「難しい」、「わからない」といわれる原因のひとつ、根管が「肉眼で確認できない」ことを克服
- 肉眼で確認しづらい根管系を3次元的に捉え、オリジナルの根管系を保持した根管形成が可能になれば、歯内療法を成功させることは決して難しくありません。
- 本コースでは、歯内療法のEBMを踏まえ、良好な治療成果を挙げられる「JHエンドシステム」を紹介します。
- 講義およびJH透明根管模型を使用したデモとマンツーマンによる実習を通し、3-D歯内療法を習得し、根管治療の成功に不可欠な「手指の感覚」を身につけていただきます。

学習効果 歯内療法の認識が変わります!

- EBMに基づく歯内疾患の捉え方および歯内疾患と咬合との関連性について学べます。
- 患歯の破折を防ぐための「生体に易しい根管形成法」を体得できます。

講義 (Lecture)

1. 低侵襲歯内療法における臨床
2. 歯内療法と咬合との関連性
3. 歯内治療の基本
4. 根管拡大形成の理想と効率化
5. 根管充填の理想
6. 抜去歯を用いた JH エンドシステムによるデモと解説



実習 (Hands on)

1. JH 透明模型を用いたマンツーマンによる根管治療の実習
2. マンツーマンによる根管充填 (垂直加圧法および側方加圧法)
3. 根管形成法から根管充填までのマンツーマン指導
4. 根管形成法から根管充填までの評価



平井 順

Jun Hirai

平井歯科医院院長
歯学博士
日本大学元客員教授
明海大学歯学部臨床教授
国際歯科学士会日本部会監事
米国歯内療法学会 (AAE)
米国歯周病学会会員 (AAP)
日本顎咬合学会常任理事
日本歯内療法学会
代議員・専門医・指導医

■定員：15名

■日時：2日間

2023年9月16日(土)

10:00 ~ 17:00

2023年9月17日(日)

9:00 ~ 16:00

■会場：千葉・浦安市

明海大学PDI浦安歯科診療所

■受講料：100,000円

(実習材料費、教材費含む)

9・10

MULTIDISCIPLINARY
APPROACH

18

DAYS COURSE

【コース番号:14230306】

マルチディシプリナリーアプローチ 11・12

(矯正・外科コース)

MTMの実際

ーアップライトとエクストルージョンー

Actual MTM (Upright and Extrusion)

咬合崩壊は大白歯の欠損放置から始まります。近心傾斜した大白歯の歯軸をアップライトするだけで、治療の予後は格段によくなります。また、審美エリアでは矯正的な歯根の挺出が必要になる場面に多く遭遇します。

本コースでは2日間で、大白歯のアップライトと上顎前歯のエクストルージョンができるスキルを身につけます。

また、矯正治療をする上で必要な矯正診断に関して、最低限必要なセファロ分析と模型分析について解説と実習を行います。簡単な矯正診断の知識を得ることで、MTMを行う際の理解が深まります。

さらに時間が許す限り、下顎前歯の圧下装置である、ユーティリティーアーチについて解説と実習を行う予定です。

Point

- 下顎第二大臼歯の近心傾斜を放置するリスクとその改善方法を解説します。
- 近心傾斜した下顎第二大臼歯のアップライトの手法を実習を交えて解説します。
- 部分矯正に必要な矯正器材について解説します。
- 歯の移動のメカニクスと部分矯正に必要な矯正器材について解説します。
- 前歯のエクストルージョン(矯正的牽引)についてその目的を解説します。
- 前歯エクストルージョンの手法を実習を交えて解説します。
- インプラントサイトマネージメントとしてのエクストルージョンの手法について詳しく解説します。
- MTMに必要な側方セファロ分析の簡単な解説と実習を行います。
- MTMに必要な模型分析について簡単な解説と実習を行います。
- 下顎前歯の挺出(病的移動)に関して、その診断と改善方法を解説します。
- 挺出した下顎前歯を圧下するための装置であるベーシックユーティリティーアーチの実習を行います(予定)。

学習効果

- MTMの基本であるアップライトとエクストルージョンを臨床に活用できるようになります。
- MTMに必要なメカニクスと器材について理解が深まります。
- 治療の選択肢が増えます。
- 治療の難易度がわかるようになります。

講義 (Lecture)

1. 一般臨床に必要な矯正治療の要点
2. 矯正治療の基本
3. MTMの分類と適応症
4. MTMに必要な器材
5. ワイヤーベンディングの基本
6. ブラケットポジショニング
7. アップライトのメカニクス
8. エクストルージョンのメカニクス
9. 基本的な側方セファロトレースと分析
10. 基本的な模型分析
11. 下顎前歯の圧下のメカニクス

実習 (Hands on)

1. ワイヤーベンディングの基本
2. ブラケットボンディング
3. アップライトセクション
4. エクストルージョンセクション
5. 側方セファロトレース
6. 模型分析
7. ベーシックユーティリティーアーチ

紹介動画を見る▶



渡辺 隆史

Takashi Watanabe

小滝歯科医院院長
明海大学歯学部臨床教授
日本顎咬合学会元理事長・指導医
日本歯内療法学会専門医
日本口腔診断学会認定医
アメリカ審美歯科学会会員
アメリカ歯周病学会会員
UCLA-Kawazu STUDY CLUB会長
いづな総合歯顎研究会 (ITDC) 主幹



松崎 浩成

Hiroshige Matsuzaki

松崎歯科院長
日本顎咬合学会副理事長・指導医
UCLA-Kawazu STUDY CLUB 会員
いづな総合歯顎研究会 (ITDC) 会長

- 定員：15名
- 日時：2日間
2023年9月2日(土)
10:00～17:00
2023年9月3日(日)
9:00～16:00
- 会場：千葉・浦安市
明海大学PDI浦安歯科診療所
- 受講料：100,000円
(実習材料費、教材費含む)

11・12

MULTIDISCIPLINARY
APPROACH

18

DAYS COURSE

【コース番号:14230307】

マルチディシプリナリーアプローチ 13・14

(補綴コース)

精度を追求した補綴治療 —クラウンブリッジの勘所—

High precision prosthesis - Key point of crown and fixed bridge -

補綴治療を行う上で、一本のクラウンやワンスパンのブリッジを適切に装着する技術を持つことがどれほど重要なことか、多くの臨床医は気がついていないはず。高精度なクラウンブリッジが作製できないと、フルマウスリハビリテーションなど、大掛かりな補綴治療に良好な予後を求めることはできません。まずは、機能的な咬合面形態を作り、高精度な咬合接触点を与え、適合精度の高いクラウンを作る技術を身につけることが必要です。そのためには、咬合論を正しく理解し、半調節性咬合器を扱うスキルも必要になります。本コースでは、クラウンブリッジに必要な咬合論を理解したうえで、印象から装着まで、高精度な補綴物を作製するための勘所を実習を交えて解説します。

Point

- 高精度な咬合・高精度な適合を得るための勘所は何か？補綴物の誤差をなくすための要点を解説します。
- 機能的な咬合面形態とはどのようなものか？クラウンブリッジに必要な咬合論とともに解説します。
- 半調節性咬合器をアジャストして扱えるようにします。
- 高精度な咬合調整ができるようになります。
- プロビジョナルレストレーションの作製と調整方法について解説します。
- マージンの適切な位置はどこか？どのような形態で形成すれば適合が良くなるか？プレパレーションデザインとその考え方について解説します。
- 歯肉圧排と精密印象について解説します。
- 補綴物装着時の注意点について解説します。

学習効果

- 適合精度の高いクラウンを作製できるようになります。
- 精密な咬合接触点を与えることができるようになります。
- 半調節性咬合器が扱えるようになります。

講義 (Lecture)

1. 咬合論の理解
2. 半調節性咬合器の使用目的
3. チェックバイト記録の取り方と半調節性咬合器のアジャスト
4. 形成バーの選択と形成手順
5. 誰にでもできる歯肉を傷つけない綺麗な形成方法
6. 機能的な咬合面形態と咬合調整の方法
7. 圧排の方法とタイミング
8. コンタクトポイントの調整方法とクラウンの装着

実習 (Hands on)

1. 咬合面形態の描写
2. カスタムジグを用いたチェックバイト記録
3. 半調節性咬合器のアジャスト
4. フルクラウン形成



◀ 紹介動画を見る



渡辺 隆史

Takashi Watanabe

小滝歯科医院院長

明海大学歯学部臨床教授

日本顎咬合学会

元理事長・指導医

日本歯内療法学会専門医

日本口腔診断学会認定医

アメリカ審美歯科学会会員

アメリカ歯周病学会会員

UCLA-Kawazu STUDY CLUB 会長

いづな総合歯顎研究会 (ITDC) 主宰

■ 定員：15名

■ 日時：2日間

2023年10月28日(土)

10:00 ~ 17:00

2023年10月29日(日)

9:00 ~ 16:00

■ 会場：千葉・浦安市

明海大学PDI浦安歯科診療所

■ 受講料：100,000円

(実習材料費、教材費含む)

13・14

MULTIDISCIPLINARY
APPROACH

18

DAYS COURSE

【コース番号:14230308】

マルチディシプリナリーアプローチ 15・16

(補綴コース)

人生100年時代における有床義歯補綴治療

Denture treatment with a floor in the age of 100 years of life

人生100年時代を迎えつつありますが、社会環境の変化とともに口腔環境も変化しています。従来の知識・手技では対応できない症例も増加し、患者、術者とも苦悩しているのが現実です。

難症例の解決に特効薬はありません。今までの有床義歯治療を反省し、症例を解析し、分類し原理・原則を再構築することが重要です。そうすることにより現在そして未来の問題が解決し、人生100年時代に満足度が高く、長期に機能する有床義歯補綴治療が可能となります。術者の人生も明るく、楽しく、元気になります。

Point

- 無歯顎患者、部分欠損患者の人生を理解することが機能再建には大切です。
- 片顎部分欠損(1歯から13歯まで)→片側部分欠損+無歯顎→無歯顎までの組み合わせをすることが術者には大切です。
- 局部床義歯、総義歯の区別を超えて人生100歳時代に対応できる有床義歯治療を解説
- 知識、手技を理解し構築していただくコースです。

講義 (Lecture)

1. 無歯顎患者の「原理・原則」
2. 無歯顎患者の過去・現在・未来
3. 100歳時代を元気に、楽しく生き抜いた無歯顎患者から学び、解析し、未来の無歯顎患者補綴治療を構築する
4. 形態的障害、機能的障害を再建するための基本は「臨・基・応・変」
5. 1歯欠損から13歯欠損までの「原理・原則」
6. 三次元構成義歯による機能再建に重要な印象採得と顎間記録採得法
7. 今後増大する未来型全部床義歯・局部床義歯補綴臨床の極意

実習 (Hands on)・デモ

1. 無歯顎患者における印象採得の原理・原則の習得
2. 機能的顎間記録採得法
3. 治療用義歯の「一丁目一番地」
4. 1歯-13歯欠損対応部分床義歯の基本である三次元構成義歯の原理・原則の習得
5. 三次元構成義歯を機能させるための粘膜区域・歯牙区域加圧印象採得法
6. 三次元構成義歯の装着・調整・管理など



上濱 正

Akira Uehama

ウエハマ歯科医院院長
明海大学歯学部臨床教授
日本歯科大学生命歯学部
客員教授
日本顎咬合学会
元理事長・指導医
日本補綴歯科学会 専門医・指導医
日本臨床歯周病学会認定医

■定員：15名

■日時：2日間

2023年11月11日(土)

10:00～17:00

2023年11月12日(日)

9:00～16:00

■会場：千葉・浦安市

明海大学PDI浦安歯科診療所

■受講料：100,000円

(実習材料費、教材費含む)

15・16

MULTIDISCIPLINARY
APPROACH

18

DAYS COURSE

【コース番号:14230309】

マルチディシプリナリーアプローチ 17・18

(補綴コース)

包括的治療の進め方 ーデジタル化した次世代のフルマウス治療ー

The way to proceed with comprehensive treatment
- Digitalized next-generation full mouth treatment-

口腔内を一口腔単位として検査・診断をおこない治療を施術していくことを心がけ臨床に臨んでいます。先人の先生方が示されたコンセプトのもとで治療計画を立案し、最終的な治療ゴールを定めることにより治療の流れを明確にしていくことが可能となります。また歯科治療のデジタル化により術者の経験値に頼るだけでなく客観的な基準により治療を進めることができるようになってきました。一歯単位の治療ではなく一口腔を包括的に観察し分析、治療方針の立案ができるようにお話が出来たらと思います。

Point

- 歯科治療のデジタル化による客観的な基準
- 客観的な基準による治療の進め方
- デジタルを用いることによる診査・判断力の向上を目指す。

講義 (Lecture)

1. 包括的治療の要件(口腔内観察の手法)
2. 資料採得・デジタル化に伴う資料採得
3. 咬合分析と治療計画の立案
4. 包括的治療のSTEP BY STEP
5. デジタルデンティストリーを目指して

実習 (Hands on)

1. 咬合器のハンドリング
2. 口腔内スキャナー実習(形成)



貞光 謙一郎

Kenichiro Sadamitsu

貞光歯科医院院長

日本顎咬合学会次期理事長・指導医

日本審美歯科学会代議員・認定医

朝日大学非常勤講師

■ 定員：15名

■ 日時：2日間

2024年1月27日(土)

10:00 ~ 17:00

2024年1月28日(日)

9:00 ~ 16:00

■ 会場：千葉・浦安市

明海大学PDI浦安歯科診療所

■ 受講料：100,000円

(実習材料費、教材費含む)

17・18

MULTIDISCIPLINARY
APPROACH

18

DAYS COURSE